

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人いきもの語り		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 2日		～ R8年 3月20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R8年 3月 9日		～ R8年 3月20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月、日ごとのプログラムを立てており、音楽療法(外部講師)音楽あそび、製作、あそび、ボランティアの方によるアロマトリートメントやリンパマッサージ、季節を感じられるような取り組みをしている	曜日ごとに活動があまりかぶらないようにしている 一人一人の特性を理解し、一人一人に合う支援方法で、みんなが楽しめることを意識している	活動前に事前ミーティングを行い、その日の利用者の状態や支援レベルを共有している
2	月1回の全体ミーティングや事業所内研修を行い、職員のスキルアップできるようにしている	研修では毎月テーマを決め、支援していく上で必要な課題を勉強、情報共有している	事業所としての問題点をみんなで出し合い、改善につなげるようにしていく
3	スタッフの子どもたちへの愛情が深い	一人一人の小さな発見や成長を職員全員で共有し喜んでいる	子どもたちの更なる成長のために、苦手な事にもチャレンジできるようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の研修に参加できていない	事業所での仕事がそれぞれ精いっぱい参加できていない。 時間に余裕がない	外部の研修も積極的に参加し、スキルアップに繋げていけるように正職員や非常勤スタッフにも伝えていく
2	昨年や今年に入って新しい職員が入職したが、日々の業務内容にずれがあったり、周知事項が周知されていなかったり、統一できていないところがあった	4月に確認しているが、途中から入ったスタッフや、非常勤のスタッフとの話し合いがしっかりできておらず、統一できていなかった	定期的に話し合いの場を設け、スタッフみんなが同じ思いで仕事ができるようにしていく。コミュニケーションを密にしっかりとれるように組織で改善していく
3	家庭支援、移行支援、地域支援等、不十分であった	学校や他事業所と連携がとれているので家庭支援や移行支援はデイサービスでは関係ないと思っていた	少しずつ、事業所としてできることを行っているように他の事業所や地域の方との交流を深められるようにしていく